

第2回 MDPRO医療機器産業研究会 開催報告

医療機器政策調査研究所 林 奈央

1. はじめに

医機連医療機器政策調査研究所(MDPRO)では、昨年度2024年12月に実施した、「[第1回 MDPRO医療機器産業研究会](#)」(以下、研究会)に引き続き、今年度2025年9月に医機連会員の皆様向けの第2回 研究会を開催いたしました。今年度は昨年度から開催形態を一部変更し、医機連ジャーナルでのMDPROリサーチ発行に合わせ、年3回に分け(9月、11月、2月(予定))開催としました。今回は第2回の研究会についてご報告いたします。

尚、本研究会では、今年度MDPRO重点テーマを踏まえ、主任研究員がそれぞれの視点から調査・研究した内容について紹介し、参加者の皆様と意見交換を通じてより深い気付きを得て、課題解決に向けた整理が進むことを目的としています。

【MDPRO重点テーマ(2025年度)】

- 医療機器産業の実態把握に向けた基礎情報の整理
- 医療等データの活用実態の確認とあるべき姿の検討



会場風景

2. 開催概要

日 時：2025年9月1日(月) 15:00 ~ 17:00

開 催 場 所：医機連会議室／オンライン(ZOOM)併用

発表テーマ：『医療機器産業における定量的分析に基づく主要国の比較』

① 特許出願状況 ② 主要財務データ

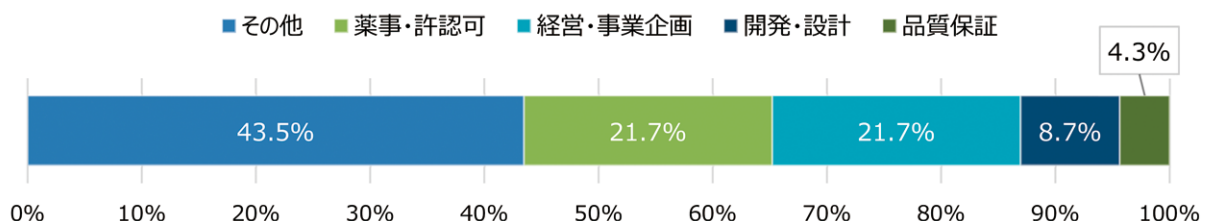
演 者：MDPRO 主任研究員 浅岡 延好

参 加 者：医機連会員45名、医機連関係者8名、MDPRO関係者5名 計58名。

参加者職種は下図をご参照ください。

(開催後アンケート回答結果より、有効回答数23件(回答率39.7%))

参加者職種 (比率)



3. 発表内容概要

冒頭に、MDPROの久芳所長より研究会の趣旨とMDPROの活動概要について説明いたしました。その後、浅岡主任研究員より、医療機器産業における主要国の特徴を① 特許出願状況、② 主要財務データ (IRデータ) の指標を用いて定量的に分析調査した内容が発表されました。

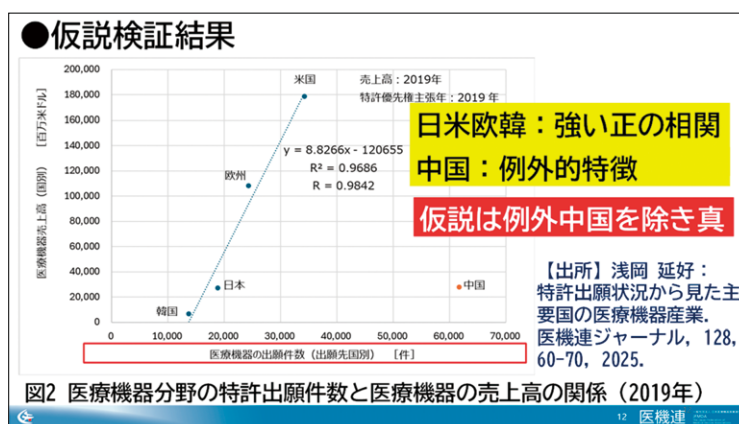


浅岡主任研究員

3.1 特許出願状況

まず、日米欧中韓の5か国を対象に、各国別の医療機器の特許出願件数と医療機器市場規模(売上高)の関係に関する分析結果が紹介されました。(医機連ジャーナル第128号 MDPROリサーチ「[特許出願状況から見た主要国の医療機器産業](#)」より)

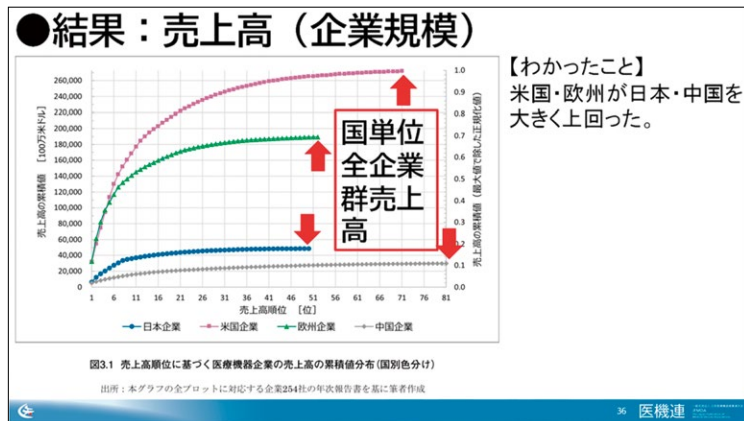
国別の比較で、日米欧韓においては特許出願件数と市場規模の間に正の相関関係が認められたのに対し、中国は例外的特徴を示すことが数値データより明らかになりました。中国で異なる特徴を示す背景として、他国と比較し国内出願件数が多い一方で外国出願が少ない点などの違いや、一部中国の医療機器政策にもふれて国別の特徴差を生み出す要因について推察がされました。



3.2 主要財務データ

続いて、日米欧中の4か国・地域の医療機器企業(全254社)のIRデータを基に、個々の企業間ではなく、国・地域間で主要財務データ比較した研究結果が説明されました。(医機連ジャーナル第130号 MDPROリサーチ「[年次報告書の財務データから見る 日米欧中の医療機器産業の特徴](#)」より)

分析データより、売上高・営業利益・研究開発費はいずれも米・欧が日・中を大きく上回る一方、営業利益率や研究開発費率は中国が高水準を示すなど、国別の違いが確認されました。こうした各国の特徴を踏まえ、日本企業の課題や今後の戦略に関する考察および検討などについて発表後に演者と参加者の間で意見交換が行われ、新たな視点を獲得する契機ともなりました。



4. さいごに

本研究会にご参加いただいた皆様からは、発表内容や運営方法に対し多くのコメントも頂戴しました。主なものを以下に一部ご紹介いたします。

- ・特許からみた考察など新たな視点を伺うことができたため良かった。
- ・各国の医療機器産業と特許を紐づけての分析は興味深く、また今後益々有益な指標になり得る。切り口はたくさんあり、今後の分析動向にも注目。
- ・個別企業の動向ではなく、累積という手法で国別の国力での比較をされていた点が良かった。
- ・さらなる意見交換の深化・活性化には、発表の最後に議論のポイントが提示されてもよいかもしれない。

頂戴したご意見は、今後の研究会開催などMDPRO活動の参考とさせていただきます。
最後になりましたが、本研究会へご参加いただきまして誠にありがとうございました。

MDPROでは、医療機器産業活動に資する調査・分析、政策提言等に係わる研究を継続的に行い、広く医療機器産業全体を俯瞰して情勢分析や中長期的課題等の検討を行っています。今後も産業界や各会員団体、各企業の皆様に共通する課題の解決に資するよう、関心の高いトピック等を中心にタイムリーな情報をお届けしてまいります。

また次回(11月中旬)、医機連会員の皆様向けに第3回のMDPRO医療機器産業研究会を、スタートアップ振興に関連したテーマで開催予定しております。引き続きよろしくお願いいたします。